

令和8年度 織田小学校 スクールプラン

【学校教育目標】たくましく生きる子の育成

【めざす児童像】 **O** 思いやる子
T 高め合う子
A 明るく元気な子

越前町学校教育目標

自らの可能性を最大限に発揮し、
他者と共に幸せな未来を切り拓く子どもの育成

越前町学校教育方針

よりよい未来の創り手となる子ども達の「生きる力」を
育む、ウェルビーイングを基盤とした学校教育

学びを育む

<重点目標>

- 対話を通して考えを深め、互いに高め合う子の育成
- 一人一人の学びを大切にし、わかる・できるを実感できる授業の推進
- ふるさとを学びの場とした探究的な学習の推進

<数値目標>

- ・「授業に主体的に参加している(意識調査ウ)」と答える児童が90%以上
- ・「授業がよくわかる(意識調査エ)」と答える児童が90%以上
- ・「ふるさとのよさがわかった」と答える児童が90%以上

<具体的取組>

- ・目的意識と相手意識を明確にして自分の思いや考えをもたせ、協働的な学びを充実させる。
- ・生徒指導の4つの視点やポジティブ教育を取り入れた授業づくりを行う。
- ・各単元の到達目標を明確にし、その達成につながる課題を設定すると共に、振り返りの充実を図る。
- ・ふるさとに関する探究活動を取り入れ、自分たちの住むふるさとの魅力を実感させる。

心と体を育む

<重点目標>

- 自己存在感を実感できる子の育成
- お互いを理解し尊重し合う心の育成
- 心と体の健康づくり

<数値目標>

- ・「自分には良いところがある」と答える児童が80%以上
- ・「みんなで何かをするのは楽しい(意識調査イ)」と答える児童が90%以上
- ・「学校が楽しい(意識調査ア)」と答える児童が90%以上

<具体的取組>

- ・「OTAの子見つけ週間」を定期的に設定し、児童一人ひとりの良さを互いに見つけ紹介し合うことで、個々の存在感を高める。
- ・縦割り班活動の充実を図り、異学年での関わりを通じた絆づくりと自己有用感の向上を図り、互いを認め合う心を育てる。
- ・学年の月目標や学校行事のめあてを児童が主体的に設定し、取り組んだり振り返ったりすることで自己調整力を育てる。

教職員集団の組織力を高める

< 重点目標 > ○働きがいと働きやすさが感じられる環境づくり

< 具体的取組 > ・協働業務に関する意識の向上
・業務の精選及び効率化
・OJTの推進
・家庭や地域、外部機関との連携